

平成29年度(2017年度)

管理事業名	障害者支援交流センター事業			総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第3節 障がい者の暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費 (目) 13 障害者支援交流センター費
部局名	福祉部	予算執行所属	障がい福祉室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
障害者支援交流センター施設管理事業 障害者支援交流センター一般開放事業 障害者支援交流センター運営事業					
<b>事業の目的と概要</b> 重度障がい者の自立と社会参加を支援し、福祉ボランティア団体の活動や市民相互の交流の場を目的とします。 生活介護施設においては、常時介護が必要な身体障がい者・知的障がい者の身体機能又は日常生活能力の維持・向上を図るために必要なサービスを提供しています。 また、短期入所施設では、介護者が疾病などにより、一時的に介護ができなくなった場合に、身体障がい者・知的障がい者を短期間施設において介護を行う短期入所サービス事業を提供しています。 他に、市内の障がい者団体等に対する貸館事業(会議室等)や市内の障がい者にプールを開放する事業を実施しています。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
生活介護施設及び短期入所施設における延べ利用者数	人	14,039	13,926	13,606	生活介護施設及び短期入所施設運営事業における年間延べ利用者数
一般開放施設における延べ利用者数	人	9,461	9,631	9,178	一般開放事業における年間延べ利用者数
成果の説明	平成29年度は、身体機能や日常生活能力の維持・向上を図るために、介護が必要な身体障がい者・知的障がい者10,656人に対して生活介護、2,950人に対して短期入所に係る障がい福祉サービスの提供を行いました。 また、地域の福祉ボランティア団体の育成や市民相互の交流促進のため、プール及び会議室を9,178人の方に開放しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	193,688	196,678	196,096	△583
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	4,618	4,716	4,470	△246
経常収入 小計(a)	198,305	201,394	200,566	△829
経常費用				
給与関係費	24,051	26,644	25,942	△702
物件費	384,207	383,620	385,489	1,869
維持補修費	6,483	7,637	13,004	5,367
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,377	5,928	7,627	1,698
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	57,577	57,577	58,077	499
徴収不能引当金繰入額	△465	△78	-	78
賞与引当金繰入額	784	797	630	△167
退職手当引当金繰入額	604	644	△653	△1,297
支払利息	10,302	8,422	6,508	△1,914
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	488,921	491,193	496,622	5,429
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△290,616	△289,799	△296,057	△6,258
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△290,616	△289,799	△296,057	△6,258
一般財源充当額	339,106	340,126	349,779	9,653
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	48,491	50,328	53,722	3,395

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	生活介護施設及び短期入所施設運営事業の使用料 【主な減額理由】 生活介護及び短期入所サービスにおける利用者数の減によるもの
維持補修費	【主な増額理由】 短期入所施設空調設備更新工事の執行によるもの
支払利息	【主な減額理由】 地方債支払利息の減によるもの

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	199,014	201,530	200,530	△1,001
行政サービス活動支出	432,227	433,883	440,122	6,239
行政サービス活動収支差額	△233,213	△232,352	△239,592	△7,240
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	105,894	107,774	110,187	2,413
財務活動収支差額	△105,894	△107,774	△110,187	△2,413
収支差額合計	△339,106	△340,126	△349,779	△9,653
一般財源充当額	339,106	340,126	349,779	9,653
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動支出) 公共施設償還金
----------	------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
開所1日あたりのコスト	平成27年度	360 日	1,358,114 円	前年度と比較して、開所1日あたりのコストが15,122円増えています。 主な理由は、経常費用における維持補修費(修繕料)の増加によるものです。
	平成28年度	359 日	1,368,226 円	
	平成29年度	359 日	1,383,348 円	
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	23,500 人	20,805 円	前年度と比較して、利用者数は減少し、利用者1人あたりのコストが946円増加しています。 主な理由は、経常費用における維持補修費(修繕料)の増加によるものです。
	平成28年度	23,557 人	20,851 円	
	平成29年度	22,784 人	21,797 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	110,485	113,264	2,779
未収金	1,409	1,234	△175	地方債	109,688	111,636	1,948
流動資産				短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	797	630	△167
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	△1,176	△965	211	リース債務	-	998	998
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産				固定負債	300,890	192,338	△108,552
有形固定資産	3,207,572	3,155,594	△51,978	地方債	291,874	180,238	△111,636
土地	1,279,972	1,279,972	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,927,600	1,870,131	△57,469	退職手当引当金	9,016	7,607	△1,409
リース資産	-	5,491	5,491	リース債務	-	4,493	4,493
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	76	76	-	負債の部合計	411,375	305,602	△105,773
固定資産				純資産	2,797,513	2,851,236	53,722
インフラ資産	-	-	-				
有形固定資産	-	-	-	純資産の部合計	2,797,513	2,851,236	53,722
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,208,888	3,156,838	△52,050
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	1,008	900	△108				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,208,888	3,156,838	△52,050				

Ⅲ 財務構造分析

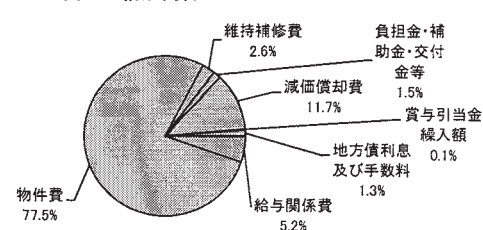
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	1.12 人	2 人	2 人	772 日	5 人	25,918
給与関係費等	10,356 千円	7,630 千円		7,865 千円	67 千円	
内、時間外勤務手当	2,279 千円					

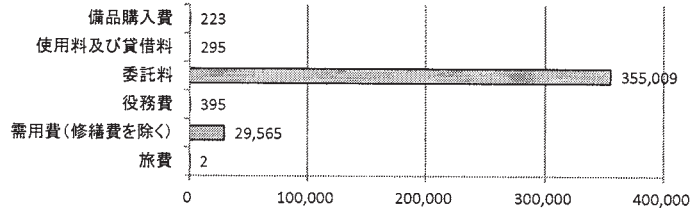
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産・建物・工作物	障害者支援交流センターの建物の減価償却による減
事業用資産・リース資産	生活介護事業送迎車両のリースによる増
重要物品	配膳台の減価償却による減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	障害者支援交流センター
取得年月日	平成13年(2001年)2月1日
建物・工作物の取得価額	2,851,900 千円
建物・工作物の減価償却累計額	981,769 千円
利用料金収入	196,096 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		0.2	0.3	0.5	0.2
施設老朽化比率		30.4	32.4	34.4	2.0
受益者負担比率		39.6	40.0	39.5	△0.5
徴収不能引当率		77.3	83.5	78.2	△5.3
一般財源充当比率		63.0	62.8	63.6	0.8
経常費用対公共資産比率		17.1	17.2	17.4	0.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・ソフト面の分析として、経常費用の77.4%が物件費であり、さらにその物件費の9割以上を委託料が占めています。これは生活介護及び短期入所事業の運営委託によるものが大きく、当該委託料307,104千円になります。

・ハード面の分析として、前年度と比較して、施設老朽化比率は2.0%、施設維持補修費比率は0.2%上昇しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・本事業は、医療的ケアを必要とする利用者など重度障がい者を対象とした施設であり、利用者1人あたりのコストを他施設と比較することは難しいですが、平成29年度においても、地域交流行事や所外活動を積極的に実施し、重度障がい者の自立と社会参加が図れるよう、取組みを行ってきました。

・医療的ケアを必要とする利用者など重度障がい者の割合が増加するなかで、受け入れ体制について検討する必要があります。

・生活介護事業自己負担金、生活介護及び短期入所施設給食材料費の徴収について、文書通知や電話等の催促を行い、未収金全体の金額は減少してきています。ただし、滞納繰越分(過年度分)の徴収率が低下しているため、納入が完了するよう今後も継続した債権管理が必要です。

・本施設は供用開始から15年以上が経過し老朽化が進んでおり、設備等維持補修費が増加しているため、財源確保も含め、今後も計画的に設備等の更新を行う必要があります。